

2026年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業 申請のためのガイドブック

このガイドブックは、（公財）仙台市市民文化事業団が実施する助成事業「2026年度文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）」への申請を検討している方へ向けて、助成制度についてより詳しく説明するものです。

「募集要項」とあわせて必ずお読みいただき、申請書作成にご活用ください。

目次

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 助成の趣旨 | … 2 ページ |
| 2. 申請する助成の区分について | … 3 ページ |
| 3. 「A. 創造・発信事業」のポイント | … 5 ページ |
| 4. 「B. 他分野との連携推進事業」のポイント | … 9 ページ |
| 5. 「C. 育成・活性化事業」のポイント | …13ページ |
| 6. 申請書類の記入例・記入時の注意点 | …15ページ |

【事務局（提出先・お問い合わせ先）】

公益財団法人仙台市市民文化事業団 総務課 企画調整係

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 日立システムズホール仙台1階

[ウェブサイト] <https://ssbj.jp/support/> [電話] 022-727-1875（平日9時30分～17時）

[Email] 申請書提出先：apply@bunka.city.sendai.jp

事前相談・問い合わせ・報告書提出等：chiiki@bunka.city.sendai.jp

1. 助成の趣旨

本助成の趣旨について、募集要項1ページ目では次のように説明しています。

(公財) 仙台市市民文化事業団は、「仙台市文化芸術推進基本計画」に基づく取り組みとして、2026年度「文化芸術を地域に生かす創造支援事業」を実施します。

本助成事業では、観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動や、市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業、仙台市の文化芸術環境の向上や担い手育成を図る事業を支援します。これらの支援を通じ、文化芸術が持つ多様な力をまちづくりに生かすとともに、一人一人が生き生きと暮らすことのできる地域づくりに寄与することを目指します。

本助成は、市民の皆さんが実施する「観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動」「市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業」を支援することで、この計画の「目指す姿」の実現を目指すものです。

「仙台市文化芸術推進基本計画」の全体像

「文化芸術推進基本計画[概要版]」より抜粋

多様な個性が輝き、まちの未来を拓く

～ひとりひとりがよりよく生きる文化芸術の杜～

基本理念

(基本理念の考え方)

- 文化芸術は、人がよりよく生きる力の源であり、人と人が共に生きていくうえで大切なものです。
- 一本一本の木がやがて豊かな「杜」となるように、ひとりひとりの多様な考え方や感じ方が受け入れられ、つながりが生まれることで、豊かな社会が形成されます。文化芸術は、多様な個性が輝くことで発展し、また人と人をつなぐ架け橋としての役割を通じて、多様性(ダイバーシティ)と包摂(インクルージョン)を備えた社会の実現に大きな力を発揮します。
- 本市は、年齢や障害の有無、国籍等に関わらず、あらゆる市民に文化芸術を享受する機会や、自由に創造する機会がひらかれることを目指します。また、ひとりひとりの生き方を尊重し、多様な担い手が対等に連携し合うことで、様々な創造的な活動を育んでいきます。
- また、創造的な取組みの輪を、ここ仙台から世界に広げていくことで、多様な担い手が世界中から集い交流し、より大きく、豊かな「杜」に育っていくものと考えます。

目指す姿

- 1 あらゆる人に参加機会がひらかれ、文化芸術に親しめるまち
- 2 多様な文化芸術活動が展開され、その担い手が育まれるまち
- 3 子どものときから文化芸術との出会いがあり、若者のチャレンジを応援するまち
- 4 歴史と記憶が継承され、未来を描く礎となるまち
- 5 文化芸術によって都市の個性が磨かれ、人を惹きつけ躍動するまち

重点プロジェクト

- 1 文化芸術の担い手を育む協働プロジェクト
- 2 創造性をひらく子ども・若者プロジェクト
- 3 杜の都の新たなシンボルとなる文化拠点整備プロジェクト
- 4 文化コンテンツによる賑わい創出プロジェクト

基本施策

- | 目指す姿1関連 | 目指す姿2関連 | 目指す姿3関連 | 目指す姿4関連 | 目指す姿5関連 |
|-----------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|
| ①文化芸術に親しめる環境づくり | ③市民の文化芸術活動支援 | ⑤子どもの文化芸術に親しむ機会の充実 | ⑦伝統芸能・文化財・民俗芸能等の継承・普及啓発 | ⑨「楽都仙台」「劇都仙台」の推進 |
| ②文化芸術による社会包摂に係る取組みの充実 | ④文化芸術の力を社会に生かす取組みの推進 | ⑥若い世代の表現活動への支援 | ⑧アーカイブの推進 | ⑩美術・映像を軸とした現代アート事業の推進 |
| | | | | ⑪多様なコンテンツを生かした賑わい創出 |

目指す姿1～5を横断する施策

- これからの文化芸術を支える仕組みの構築
- 文化施設環境等の充実
- 新たな文化拠点の整備
- 効果的な情報発信の推進

2. 申請する助成の区分について

地域助成ではA～Cの3つの助成区分を設けています。それぞれ対象となる事業や当てはまる事業形態が異なります。申請したい事業がどの区分に合致するかご検討のうえ、1つの区分を選んで申請してください。



A. 創造・発信事業 優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業

対象となる事業の形態	助成上限額	助成率	採択予定件数
公演・展示・上映会等のイベント開催、 印刷物や動画等の公開	50万円 ※	対象経費の 2分の1	10～13件

※情報保障・鑑賞サービス費について、助成金とは別に5万円を上限に実費を補助します。

2024・2025年度区分「A.文化芸術の創造・発信事業」にあたる区分です。旧区分では「新たな担い手育成や観客創出のための事業」を対象としていましたが、2026年度は当該事業については「C.育成・活性化事業」において対象とします。

仙台市内で実施する事業であれば、市外で活動する個人・団体も申請できます。

仙台市内で活動する個人・団体が市外で実施する活動も対象となる場合があります。



B. 他分野との連携推進事業 地域や社会の課題に向き合う先進的・独創的な文化芸術事業

対象となる事業の形態	助成上限額	助成率	採択予定件数
事業プロセスや様々な人々との関わりを 重視した継続的な取り組み	200万円	対象経費の 10分の10	8～10件 (スタートアップ枠含む)
	スタートアップ枠 50万円		

- 事業団が実施する事業報告会（一般公開）に出席する必要があります（2027年1月～2月予定）。
- 情報保障・鑑賞サービス費については、助成金の枠内で実施してください。

2024・2025年度区分「B.文化芸術と社会の連携推進事業」にあたる区分です。旧区分の主旨から大きな変更はありません。

単発のイベント開催のみが目的の事業は対象になりません。



C. 育成・活性化事業 地域の文化芸術の活動環境の向上や担い手育成をはかる事業

対象となる事業の形態	助成上限額	助成率	採択予定件数
担い手育成のためのワークショップ、 地域文化の継承にかかる事業、民間主体の 文化拠点の活性化イベント等	30万円 ※	対象経費の 10分の10	3～5件

※情報保障・鑑賞サービス費について、助成金とは別に5万円を上限に実費を補助します。

2026年度新設の区分です。



申請したい事業の「目的」「実施の形態」が各区分と合致しているか、「事業の要件」「対象者」の条件を全て満たしているか、「対象とならない事業（募集要項P.10）」に当てはまらないか等について、必ず募集要項をよく読んで確認してください。



過去に各区分でどのような事業が採択となっていたか、参照できるページを紹介します。
(C事業は2026年度新設のため過去採択なし)

- 事業団ウェブサイト「採択結果・事業一覧」ページ <https://ssbj.jp/support/chiiki-program/>
(※「審査の概況」欄では、審査においてどのような事業が高く評価されたか説明しています。)
- 事業団ウェブサイト「助成事業レポート」 <https://ssbj.jp/support/grant/report/?y=2025>
採択者による事業レポートを掲載しています。
- まちりょく「助成事業レビュー」
※「B.他分野との連携推進事業（旧：文化芸術と社会の連携推進事業）」のみ
- 活動報告会 アーカイブ映像 <https://youtu.be/LWBTAG3FHaI>
※「B.他分野との連携推進事業（旧：文化芸術と社会の連携推進事業）」のみ
※2026年4月9日（木）17時まで公開



3. 「A. 創造・発信事業」のポイント

● この区分で目指したいこと（募集要項P. 3）

A 枠では、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業が対象となります。事業の形態としては、「イベント」または「印刷物・動画などの媒体」等を「創造」したり、「発信」したりするものが該当します。

優れた文化芸術のイベントや印刷物・動画等の創造・発信を通じて、仙台市の「特色ある文化芸術環境の形成」や「まちの魅力向上」につながる企画内容であることが重要なポイントとなります。

「特色ある文化芸術環境の形成」

- 質の高い文化芸術に市民が触れる機会の創出
- 仙台の環境・人材・歴史等を生かした企画内容

「まちの魅力向上」

- 参加を通じて、市内外の人がまちを好きになる
- 地域の文化や歴史を知るきっかけになる



例えば、「助成金を利用してより質の高い作品を創造・発信することで、仙台の文化芸術シーンを盛り上げたい」、「仙台の歴史や地域の文化を発信して、まちの魅力を広く伝えたい」といった企画意図を持つ事業は、本区分に合致します。

● 「A. 創造・発信事業」に該当する事業の例

【音楽・演劇・舞踊等の公演、展覧会、映像作品・音楽アルバムの製作・発表】

- 創造性・芸術性の高い作品の上映会、公演、展覧会
- アーティストの交流等を促進する新たな作品の創造・発表

【街中や複数会場を活用したフェスティバルや、広域からの参加が見込まれる公募展、コンクール】

- 広域から出展作品を募集し、仙台で展示・発表することで、他都市・地域の文化芸術団体やアーティストとのネットワーク形成を目指す事業
- 複数の会場を活用したフェスティバルの開催により、まちの魅力向上に資する事業

【印刷物の編集・発行、アーカイブの作成・発信】

- 仙台を拠点に制作した作品・アートプロジェクトの記録集の発行事業



● 事業の要件（募集要項P. 3）

(1) 申請者自らが主催して行うこと。

(2) 新規事業であること。申請者が通常行っている活動と同等の事業や、定例的に行っている事業の場合は、助成金を活用することで成しえる新たな展開を含むこと。

※ 既存の作品を発表する内容でも対象となりますが、企画内容・人選・制作過程等において、どのような新たな展開を含むか明確にしてください。

※ 新作を創作・発表する事業内容であっても、申請者がこれまで定期的に新作を創作・発表している場合は新たな展開としてみなさない場合があります。

定期演奏会や恒例イベントについて申請を検討している方は、特にご注意ください。

申請する事業について、助成を利用しない普段の活動との違いが明確にわかるように申請書に記載してください。例えば、「外部からのゲスト招聘」や「新曲の委嘱」など、助成金を活用して新たに取り組む内容を企画に盛り込むようにしてください。



(3) 助成対象期間内に対象となる作品の発表やイベントの開催を行うこと。

(4) 市民や地域に広くひらかれた事業であること。

実施にあたっては、広報・周知を十分に行うようにしてください。



(5) 仙台市内で実施される事業であること。

※ 仙台市内の個人・団体が主催し市外で開催する事業は、審査において市外で実施する意義がとりわけ高いと認められた場合に限り、対象となります。

本区分では「まちの魅力向上」を目的としていることから、市外に発信し、広い範囲で波及する事業も対象となります。

例えば、市外の地域で仙台の文化芸術を発信しその魅力を広める事業や、文化・歴史上のつながりがある他の地域と交流しながら創作する事業等は、審査でその意義が十分であると認められれば対象となります。

市外で実施することでどのように仙台の文化芸術環境の活性化、魅力向上に貢献できるか、申請書に盛り込んでください。



● 対象者（募集要項P. 3）

本区分では、市外で活動している個人・団体が仙台市内で行う活動も対象とします。

特に、仙台市内の文化芸術関係者との交流を生むものや、仙台の文化・歴史に関連するものなどは高く評価されます。

どのように仙台の特色ある文化芸術環境の形成、まちの魅力向上に貢献できるか、申請書に盛り込んでください。



● 助成額（募集要項P. 4）

本区分は、助成上限額50万円、情報保障・鑑賞サービス費補助金上限額5万円、助成率は助成対象経費の2分の1と定めています。

この場合、以下のような予算計画が例として考えられます。

【外部収入がある場合】

収入		支出	
情報保障・ 鑑賞サービス補助	5万円	情報保障・ 鑑賞サービス費	
地域助成 助成金 50万円	1/2	助成対象経費 100万円	
外部収入 (入場料・協賛金・ その他の助成金) 60万円		助成対象外経費 10万円	
115万円		115万円	

【外部収入がない場合】

収入		支出	
情報保障・ 鑑賞サービス補助	5万円	情報保障・ 鑑賞サービス費	
地域助成 助成金 50万円	1/2	助成対象経費 100万円	
自己負担金 (会費、自己資金など) 60万円		助成対象外経費 10万円	
115万円		115万円	

助成金の上限額は、助成対象経費の2分の1、または事業全体の経費から事業収入を差し引いた額のいずれか小さい方となります。助成対象経費のうち、助成金収入を充てない残りの助成対象経費、および助成対象外経費については、その他の外部収入を充てることができますので、自己負担金が発生しない場合でも申請できます。

「助成対象経費」「助成対象外経費」「情報保障・鑑賞サービス費補助金」に該当する経費については、募集要項P.10、11をご参照ください。

● 審査の視点（A. 創造・発信事業）（募集要項P. 4）

本区分の審査は、下記の「審査の視点」から行います。

<p>(1) 文化事業としての質</p>	<p>創造性・芸術性が発揮されており、文化的に質の高い成果が期待できる。</p> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 表現内容や企画構成に高い創造性・芸術性が認められる ▪ 発信の手法に創造性・独自性がある ▪ テーマや手法に意義や新規性が認められる ▪ 参加者・出演者の選定が意欲的である ▪ 申請者の今後の活躍や事業の発展につながる内容である ▪ 地域の文化的資産の価値を今日的な視点から再考・再解釈し発信する内容である <p>作品や企画のテーマやコンセプト、それをどのような手法で表現するのか等について、「事業計画書」「事業内容に関する補足資料」に明確に記載するようにしてください。</p>
<p>(2) 波及効果</p>	<p>地域・社会への波及効果が期待できる。</p> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 市民に広く鑑賞・体験の機会を提供するための工夫がある ▪ 様々な背景、立場の人が参加できる工夫がある ▪ 仙台市の文化発信につながる ▪ 他地域で活動する文化芸術関係者との交流を生む
<p>(3) 実現可能性</p>	<p>企画内容、実施体制、手法、事業プロセス、予算計画等が実施のために適切なものとなっている。</p> <p>申請書作成時には次のような事項にご留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「収支予算書」に計上する経費は、計上額が適切か判断できるように、できるだけ詳しく積算内訳を記載してください。また、「事業計画書」等と整合が取れているか確認してください。「事業計画書」内に記載のないイベントについて経費計上がある、「事業計画書」に記載の会場や人数等と、「収支予算書」に記載の積算内訳に相違がある、等があると、適切な予算か判断がつかず、評価が下がる可能性があります。 ▪ 制作状況、出演者交渉、会場確保等の確定の状況や今後の見通しについて「事業計画書」に記載してください。 ▪ 申請事業に関する事業実績を「申請者プロフィール」「事業内容に関する補足資料」等で記載してください。
<p>(4) 助成対象としての妥当性</p>	<p>本助成事業の目的や対象となる事業の趣旨に合致し、助成を得ることで高い成果が期待できる事業である。</p>

4. 「B. 他分野との連携推進事業」のポイント

● この区分で目指したいこと（募集要項P. 5）

B 枠では、文化芸術のもつ創造性を生かして、観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により地域や社会の課題と向き合う事業を支援します。

事業プロセスや様々な人との関わりを重視して継続的に行う、一過性に留まらない波及効果が見込まれる先進的・独創的な文化芸術事業が対象となります。

複数の公演・イベントを行う事業、ロングラン公演・長期展示を行う事業、というだけでは、本区分が対象とする「継続的に行う事業」には該当しません。



● 「B. 他分野との連携推進事業」に該当する事業の例

【「観光・まちづくり」との連携】

- 観光・まちづくり団体と連携し、アーティスト独自の視点により新たに発見・発掘した地域資源をまちの魅力として広く発信するプロジェクト
- アーティストがまちづくり団体と連携して行う、地域の空き店舗や工場跡などを活用したアートプロジェクト

【「教育」との連携】

- 教育機関と連携し、文化芸術を通じて子どもたちのコミュニケーション能力の向上や、豊かな学びを目指す事業
- 社会教育施設と連携し、地域の歴史や資料の掘り起こしを通じて、地域住民のコミュニティ形成に資する事業

【「産業」との連携】

- 地域の製造業と連携し、新たな作品やプロダクトを制作する事業

【「防災・災害文化」との連携】

- 震災の記録と記憶の継承に取り組む団体と連携し、映像による記録や発信に取り組む事業

【複数の分野との連携】

- 文化芸術の持つ発信力を活用し、社会の課題を可視化するとともに、その解決に向けた学び合いの場をデザイン（創造）する事業
- 地域の芸能団体や工芸等の職人が抱える継承の課題に、観光や教育機関等との連携を通じて取り組む事業

● 重点的に採択する事業（募集要項P. 5）

B区分では、「仙台市文化芸術推進基本計画」において目指す姿として掲げられている“あらゆる人に参加機会がひらかれ、文化芸術に親しめるまち”の実現に寄与するため、①「障害のある方による文化芸術活動の促進に取り組む事業」及び②「年齢や国籍、経済的な状況等に関わらずあらゆる人の文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図る事業」を重点的に採択します。

● 「重点的に採択する事業」に該当するの事業の例

【障害のある方による文化芸術活動の促進に取り組む事業】

- 障害や社会的な環境など、様々な理由で文化芸術への参加機会が得られなかった人を対象に、芸術の鑑賞や体験ができるようにする事業
- 障害がある方の創作・表現活動を支える人材を育成する事業

【年齢や国籍、経済的な状況等に関わらずあらゆる人の文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図る事業】

- 高齢者福祉施設と連携し、文化芸術活動を通じた高齢者のQOL（生活の質）の向上を目指す事業。また、そこで働く職員のケアのためのワークショップ事業。
- 地域で展開するアートプロジェクトを通じて、在住外国人等、異なる文化的背景を持つ人との交流や相互理解を促進する事業
- 文化芸術活動を通じて、社会の中で生きづらさを抱える人の居場所づくりに取り組む事業
- 年齢や障害の有無を問わず参加できる音楽・演劇の創作公演



● スタートアップ枠（募集要項P. 6）

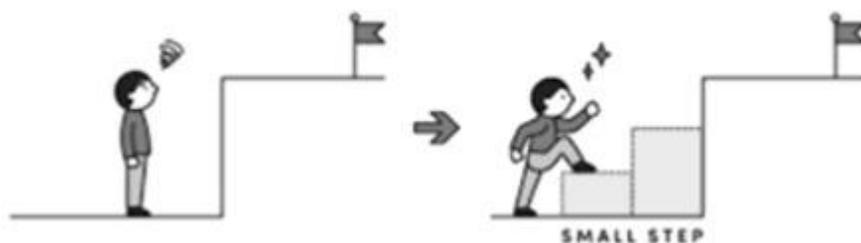
B区分は、「地域や社会の課題に向き合うもの」が対象となる事業です。文化芸術以外の分野との連携に踏み出すためには、関係づくりやリサーチなど、試験的・実験的な段階を経る必要がある場合も多くあります。

本格実施に向けてより丁寧に体制づくりに取り組もうとする事業を支援するために、B区分には「スタートアップ枠」を設けています。助成上限200万円の通常枠とは別に審査を行い、採択を決定します。

● 「スタートアップ枠」に該当する事業の例

- 障害のある人とない人が一緒に楽しめるフェスティバルの開催を目指して、ミニコンサートのプログラムを企画し、実施する事業
- 高齢者を対象とした演劇ワークショップの開発に向けて、当事者をつながりをつくり、ニーズをリサーチする事業
- 翌年の手話劇の本格創作に向けて、実績のある団体を講師として招へいし、地元の俳優のためのワークショップを実施する事業
- アートプロジェクトの企画・実施の準備年として、地域を知り、住民との交流を深めるためのワークショップを実施する事業

※新たに挑戦する事業・本格実施に向けた試行的な事業であっても、通常の200万円の枠に申請することは可能です。ただし、申請する際には、通常の枠かスタートアップ枠のいずれか1つを選択してください。



● 「B. 他分野との連携推進事業」の助成回数（募集要項P. 5）

B区分は、継続して行う事業が対象となりますが、本助成における助成回数に上限を設けています。申請にあたっては、事業の取組み期間を予め定め、期間中の目標と、そこに至るプロセスが時系列でわかるよう事業を計画してください。

- 同一事業への助成は原則3回までとします。ただし、審査において助成事業対象としての妥当性が認められた場合に限り、最大5回まで助成を受けることができます（毎年度申請・審査が必要）。なお、この場合、4回目以降は上限額を段階的に減額します。
- 「スタートアップ」枠の継続事業への助成は2回までとします。

● 審査の視点（B. 他分野との連携推進事業）（募集要項P. 7）

本区分の審査は、下記の「審査の視点」から行います。

<p>(1) 先進性・独創性</p>	<p>新たな視点や工夫が取り入れられている。</p> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 文化芸術と地域・社会との新たな関わり方を提示している。 ▪ 文化芸術の新たな価値を提案する事業となっている。 ▪ 既存の取り組みにないアイデアを提示している。 
<p>(2) 文化事業としての質</p>	<p>文化的に質の高い成果が期待できる。</p>
<p>(3) 波及効果</p>	<p>地域・社会への波及効果が期待できる。</p> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 事業のプロセスや成果を市民や文化芸術関係者に広く発信するための工夫がある。 ▪ 事業の実施を通じて、他の地域でも展開可能な事業モデルとなりうる内容になっている。 
<p>(4) 将来性・発展性</p>	<p>申請者の今後の活躍や事業の発展が期待できる。</p> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 今回申請する事業をステップとして、今後どのような展開を見据えているかが事業計画書に明確に記入されている。 ▪ 助成期間終了後も持続可能な体制・仕組みづくりの工夫がある。 
<p>(5) 実現可能性</p>	<p>企画内容、実施体制、手法、事業プロセス、予算計画等が実施のために適切なものとなっている。</p> <p>申請書作成時には次のような事項にご留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「収支予算書」に計上する経費は、計上額が適切か判断できるように、できるだけ詳しく積算内訳を記載してください。また、「事業計画書」等と整合が取れているか確認してください。「事業計画書」内に記載のないイベントについて経費計上がある、「事業計画書」に記載の会場や人数等と、「収支予算書」に記載の積算内訳に相違がある、等があると、適切な予算か判断がつかず、評価が下がる可能性があります。 ▪ 制作状況、出演者交渉、会場確保等の確定の状況や今後の見通しについて「事業計画書」に記載してください。 ▪ 事業における到達目標に対して、そこに至るためのプロセスや手法を明確に記載してください。 ▪ 申請事業に関する事業実績を「申請者プロフィール」「事業内容に関する補足資料」等で記載してください。 
<p>(6) 助成対象としての妥当性</p>	<p>本助成事業の目的や対象となる事業の趣旨に合致し、助成を得ることで高い成果が期待できる事業である。</p>

5. 「c. 育成・活性化事業」のポイント

● この区分で目指したいこと（募集要項P. 8）

地域の文化芸術の担い手の育成・レベルアップをはかる事業や、文化拠点の活性化をはかるイベント等を通じて、仙台における文化芸術環境の向上に取り組む事業が対象となります。

● 「c. 育成・活性化事業」に該当する事業の例

【担い手育成・レベルアップ】

- 若手の実演家を対象に、県外から講師を招聘して行うオープンレッスン
- 文化芸術の担い手のスキルやマネジメント力向上のための研修会・ワークショップ

【文化の継承】

- 地域に伝わる伝統工芸技術を普及するためのワークショップ
- 地域独自の文化や歴史を記録・編集し、書籍として発行する事業

【新たな観客創出】

- 乳幼児も参加できるコンサート・公演や、親子で鑑賞できる工夫がある展覧会
- 鑑賞初心者に向けた、レクチャーを含めた公演

【民間主体の文化拠点の活性化】

- ギャラリーを地域にひらき新たな活用方法を見出すためのイベント



● 審査の視点 (c. 育成・活性化事業) (募集要項P. 9)

本区分の審査は、下記の「審査の視点」から行います。

<p>(1) 意義と手法の妥当性</p>	<p>地域における文化芸術の課題を的確に捉え、その解決に向けて適切な手法がとられている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 申請事業において取り組む、地域における文化芸術環境の課題が具体的に記載されている ▪ 地域文化の継承に取り組む事業の場合、その文化の地域における意義や価値について具体的に記載されている ▪ 課題に対してなぜその手法を取るかが明快に記載されている ▪ 解決に向けた手法が意欲的・画的である </div> 
<p>(2) 波及効果</p>	<p>地域・社会への波及効果が期待できる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【高く評価される例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 市民・地域の文化芸術関係者に広く鑑賞・体験・参加の機会を提供するための工夫がある ▪ 様々な背景、立場の人が参加できる工夫がある ▪ 仙台市の文化芸術環境の活性化につながる ▪ 他地域で活動する文化芸術関係者との交流を生む </div> 
<p>(3) 実現可能性</p>	<p>企画内容、実施体制、手法、事業プロセス、予算計画等が実施のために適切なものとなっている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>申請書作成時には次のような事項にご留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「収支予算書」に計上する経費は、計上額が適切か判断できるように、できるだけ詳しく積算内訳を記載してください。また、「事業計画書」等と整合が取れているか確認してください。「事業計画書」内に記載のないイベントについて経費計上がある、「事業計画書」に記載の会場や人数等と、「収支予算書」に記載の積算内訳に相違がある、等があると、適切な予算か判断がつかず、評価が下がる可能性があります。 ▪ 制作状況、出演者交渉、会場確保等の確定の状況や今後の見通しについて「事業計画書」に記載してください。 ▪ 申請事業に関する事業実績を「申請者プロフィール」「事業内容に関する補足資料」等で記載してください。 </div> 
<p>(4) 助成対象としての妥当性</p>	<p>本助成事業の目的や対象となる事業の趣旨に合致し、助成を得ることで高い成果が期待できる事業である。</p>

6. 申請書類の記入例・記入時の注意点

(提出書類1)

2026年4月 日

公益財団法人仙台市市民文化事業団 理事長 様

2026年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業 申請書

以下のとおり助成事業を申請します。

1. 事業について

事業の名称	※事業名が決定していない場合は、名称の後ろに（仮）と記入してください。
申請する助成区分	下記のいずれか一つに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> A. 創造・発信事業 <input type="checkbox"/> B. 他分野との連携推進事業 <input type="checkbox"/> B. 他分野との連携推進事業 スタートアップ枠 <input type="checkbox"/> C. 育成・活性化事業

2. 申請者（主催者）について

ふりがな	申請者名／申請団体名は、事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一名称を記入してください。		<input type="checkbox"/> 個人申請 <input type="checkbox"/> 団体申請
ふりがな	ふりがな	ふりがな	
団体代表者氏名	※個人申請の場合記入不要	本名	※申請者名または団体代表者氏名が芸名・屋号・プロジェクト名等である場合は記入
郵便番号	個人申請者、または申請団体代表者が、芸名・屋号・プロジェクト名等を使用している場合、本欄に本名を記入してください。		
住所			
電話番号			
Eメール			
誓約事項	<input type="checkbox"/> 「暴力団等と関係を有している者」に該当していません ※ <input checked="" type="checkbox"/> チェックをつけてください。		

3. 申請・連絡担当者について（代表者と異なる場合はご記入ください）

※申請・連絡担当者をご記入いただいた場合は、通知の送付や事務連絡は申請・連絡担当者宛に行います。

ふりがな	団体の場合のみ記載。 個人で申請する場合は、申請者本人が申請・連絡を担当してください。
氏名	
郵便番号	
住所	
電話番号	
Eメール	
役職・担当等	

2026 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成） 事業計画書 【A. 創造・発信事業】

1. 申請者（主催者）について

ふりがな		<input type="checkbox"/> 個人申請 <input type="checkbox"/> 団体申請
申請者名／ 申請団体名	※事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一の名称を記入	
ふりがな		
団体代表者氏名	※個人申請の場合記入不要	
ふりがな		
本名	※申請者名または団体代表者氏名が芸名・屋号・プロジェクト名等である場合は記入	
ウェブサイト		

提出書類(6)「収支予算書」に記載の額と一致しているか
ご確認ください。

2. 助成金申請額について

助成金申請額	円（上限 50 万円、対象経費の 2 分の 1）
情報保障・鑑賞サービス費 補助金申請額	円（上限 5 万円、実費分）
当助成事業として採択されなかった場合、または助成額が要望申請額を下回った場合の申請事業実施について、 下記ア～ウのいずれかに <input checked="" type="checkbox"/> をつけてください。	
<input type="checkbox"/> ア 当助成事業の採択結果または助成額にかかわらず計画通り実施する。 <input type="checkbox"/> イ 助成額に応じて事業を縮小して実施する。 <input type="checkbox"/> ウ 助成額が _____ 円以下であれば中止する。 ※ウを選択した事業は、審査委員会での評価が上記記入金額を下回った際は不採択となります。	

3. 申請事業の概要について

事業の名称	提出書類(1)「申請書」に記入した事業の名称と 一致しているかご確認ください。 <small>※事業名称が決定していない場合は、名称の後ろに（仮）と記入してください。</small>
分野	<input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 工芸 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 映像 <input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 郷土史 <input type="checkbox"/> 生活文化 <input type="checkbox"/> その他（ ）
実施時期	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ） <small>※対象期間内（2026 年 6 月 20 日から 2027 年 3 月 14 日まで）の日にご記入ください。</small>
開催場所・ 発信媒体等	複数分野の選択も可です。
入場料・各種料金	<input type="checkbox"/> 無 料 ・ <input type="checkbox"/> 有 料（ 円） <small>※複数の料金設定がある場合は最も販売数の多いものをご記入ください。</small>
共催	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体と共催する事業は助成の対象となりません。 ・ 仙台市または仙台市の関係団体・施設等については、当該団体等から助成金・補助金等の収入を得ていなければ、連携・協働することは可能です。この場合は団体名などを「協力・後援等」欄に記入してください。 </div>
協力・後援等	
事業概要 (150 字以内)	

4. 事業計画について

※できるだけ具体的にご記入ください。

<p>新規／既存事業の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 新規事業 <input type="checkbox"/> 2. 既存・定例事業であるが、新たな展開を行う事業 <input type="checkbox"/> 2024・2025年度地域助成の採択事業から継続する事業</p>
<p>これまでの事業成果と2026年度行う新たな展開</p>	<p>これまでの事業で得られた成果と、2026年度に本助成金を活用することで成しえる新たな展開についてご記入ください。 ※上記の「新規／既存事業の別」で2に<input checked="" type="checkbox"/>した場合のみご記入ください。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>通常行っている活動と同等の事業や、定例的に行っている事業の場合は、助成金を活用することで成しえる新たな展開を含むことが要件となっています。</p> </div>
<p>企画意図・ねらい・目的</p>	<p>本企画に至った理由、事業によって達成したいねらいや目的をご記入ください。 仙台市の特色ある文化芸術環境の形成にどのように資する事業か、具体的にご記入ください。</p>
<p>手法</p>	<p>ねらい・目的を達成するための手法や、波及効果を生み出すための手法をご記入ください。 ※コンセプト設定、制作プロセス、表現手法、発信方法等をご説明ください。</p>
<p>事業の詳細</p>	<p>申請事業の内容、実施時期、出演・参加アーティスト、回数、対象者等を具体的にご記入ください。 ※制作状況、出演者交渉、会場確保等の準備状況もご記入ください。 ※作品・制作物等のテーマ・コンセプト・あらすじ等や、具体的な制作の手法等については、提出書類「(7)事業内容に関する補足資料」にご記入ください。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>特に出演・参加アーティスト、会場は、決定事項と未決定事項がわかるようにご記入ください。</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>作品・制作物等のテーマ・コンセプト・あらすじ等や、具体的な制作の手法等については、提出書類「(7)事業内容に関する補足資料」にご記入ください。</p> </div>

<p>情報保障・鑑賞サービスに関する取組みについて</p>	<p>事業の鑑賞者・参加者を対象とするアクセシビリティ向上を目的とした取組みを実施する場合、その具体的な内容についてご記入ください。</p> <p>情報保障・鑑賞サービス費補助金を申請する場合は、本欄に必ずその具体的な内容をご記入ください。</p> <p>該当する取組みを行わない場合は空欄としてください。</p>
<p>実施体制</p>	<p>企画・運営・会計・広報等にかかわる担当者名と役割をご記入ください。</p>
<p>事業後の活動展開や目標</p>	<p>この助成事業での活動をステップとして、今後、どのような事業を進めていくのか、活動展開や目標等をご記入ください。</p>
<p>特記事項 (記入は任意です)</p>	

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、「事業計画書」全体として 4ページ以内でまとめてください。

2026 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）
事業計画書 【B. 他分野との連携推進事業】

1. 申請者（主催者）について

ふりがな		<input type="checkbox"/> 個人申請 <input type="checkbox"/> 団体申請
申請者名／ 申請団体名	※事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一の名称を記入	
ふりがな		
団体代表者氏名	※個人申請の場合記入不要	
ふりがな		
本名	※申請者名または団体代表者氏名が芸名・屋号・プロジェクト名等である場合は記入	
ウェブサイト	提出書類(6)「収支予算書」に記入の額と一致しているか ご確認ください。	

2. 申請区分・助成金申請額について

申請区分と 助成金申請額	<input type="checkbox"/> 通常枠：申請額 円（上限 200 万円） <input type="checkbox"/> スタートアップ枠：申請額 円（上限 50 万円） ※いずれか1つを選んで☑してください（併願不可）。
当助成事業として採択されなかった場合、または助成額が要望申請額を下回った場合の申請事業実施について、 下記ア～ウのいずれかに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> ア 当助成事業の採択結果または助成額にかかわらず計画通り実施する。 <input type="checkbox"/> イ 助成額に応じて事業を縮小して実施する。 <input type="checkbox"/> ウ 助成額が_____円以下であれば中止する。 ※ウを選択した事業は、審査委員会での評価が上記記入金額を下回った際は不採択となります。	

3. 申請事業の概要について

事業の名称	提出書類(1)「申請書」に記入した事業の名称と一致 しているかご確認ください。 ※事業名称が決定していない場合は、名称の後ろに（仮）と記入してください。
分野	<input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 工芸 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 映像 <input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 郷土史 <input type="checkbox"/> 生活文化 <input type="checkbox"/> その他（ ） 複数分野の選択も可です。
実施時期	※対象期間内（2026年6月20日から2027年3月14日まで）の日にちをご記入ください。
開催場所・ 発信媒体等	
入場料・各種料金	<input type="checkbox"/> 無 料 ・ <input type="checkbox"/> 有 料（ 円） ※複数の料金設定がある場合は最も販売数の多いものをご記入ください。
共催	・ 仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体 と共催する事業は助成の対象となりません。 ・ 仙台市または仙台市の関係団体・施設等については、当 該団体等から助成金・補助金等の収入を得ていなければ、 連携・協働することは可能です。この場合は団体名などを 「協力・後援等」欄に記入してください。
協力・後援等	
事業概要 (150字以内)	

<p>今回の申請での 新たな展開 ・到達目標</p>	<p>今回の申請事業において新たに取り組む展開と達成したい目標を簡潔にご記入ください。 ※上記の「新規／既存事業の別」で2に☑した場合のみご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>既存事業の場合は、これまでの事業をもとに新たな展開を行うことが要件となっています。</p> </div>
<p>手法</p>	<p>ねらい・目的を達成するための手法や、波及効果を生み出すための手法をご記入ください。 ※コンセプト設定、事業プロセス、多様な人が参画するための工夫や地域社会との連携方法等をご説明ください。なお、他団体・施設等と連携・協働する場合は、その名称も明記してください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本様式に書き切れない事項は、提出書類(7)「事業内容に関する補足資料」を活用してください。</p> </div>
<p>事業の詳細</p>	<p>申請事業の内容、実施時期、出演・参加アーティスト、回数、対象者等を<u>具体的</u>にご記入ください。</p>
<p>実施体制</p>	<p>企画・運営・会計・広報等にかかわる担当者名と役割をご記入ください。</p>

<p>事業計画終了後の活動展開・目標</p>	<p>この助成事業での活動をステップとして、申請者が計画終了後にどのような事業を進めていくのか、活動展開や目標等をご記入ください。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>今回の申請だけでなく、事業計画の全体が終了した後に、どのように事業を進めていくのか、活動展開などを記入してください。</p> </div>
<p>特記事項 (記入は任意です)</p>	

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、「事業計画書」全体として 4ページ以内でまとめてください。

2026 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業 事業計画書 【C. 育成・活性化事業】

1. 申請者（主催者）について

ふりがな		<input type="checkbox"/> 個人申請 <input type="checkbox"/> 団体申請
申請者名／ 申請団体名	※事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一の名称を記入	
ふりがな		
団体代表者氏名	※個人申請の場合記入不要	
ふりがな		
本名	※申請者名または団体代表者氏名が芸名・屋号・プロジェクト名等である場合は記入	
ウェブサイト URL		

提出書類(6)「収支予算書」に記載の額と一致しているかご確認ください。

2. 助成金申請額について

助成金申請額	円（上限 30 万円、対象経費の 10 分の 10）
情報保障・鑑賞サービス費 補助金申請額	円（上限 5 万円、実費分）
当助成事業として採択されなかった場合、または助成額が要望申請額を下回った場合の申請事業実施について、 下記ア～ウのいずれかに <input checked="" type="checkbox"/> をつけてください。	
<input type="checkbox"/> ア 当助成事業の採択結果または助成額にかかわらず計画通り実施する。 <input type="checkbox"/> イ 助成額に応じて事業を縮小して実施する。 <input type="checkbox"/> ウ 助成額が _____ 円以下であれば中止する。 ※ウを選択した事業は、審査委員会での評価が上記記入金額を下回った際は不採択となります。	

3. 申請事業の概要について

事業の名称	※事業名称が決定していない場合は、名称の後ろに（仮）と記入してください。
分野	<input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 工芸 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 映像 <input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 郷土史 <input type="checkbox"/> 生活文化 <input type="checkbox"/> その他（ ）
実施時期	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ） ※3月14日までの日にちをご記入ください。
開催場所・ 発信媒体等	
入場料・各種料金	<input type="checkbox"/> 無 料 ・ <input type="checkbox"/> 有 料（ 円） ※複数の料金設定がある場合は最も販売数の多いものをご記入ください。
共催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体と共催する事業は助成の対象となりません。 ・ 仙台市または仙台市の関係団体・施設等については、当該団体等から助成金・補助金等の収入を得ていなければ、連携・協働することは可能です。この場合は団体名などを「協力・後援等」欄に記入してください。
協力・後援等	
事業概要 (150 字以内)	

4. 事業計画について

※できるだけ具体的にご記入ください。

新規／継続事業の別	<input type="checkbox"/> 1. 新規事業 <input type="checkbox"/> 2. 既存・定例事業であるが、新たな展開を行う事業
これまでの事業成果と今年度行う新たな展開	<p>これまでの事業で得られた成果と、今年度本助成金を活用することで成しえる新たな展開についてご記入ください。</p> <p>※上記の「新規／継続事業の別」で2に☑した場合のみご記入ください。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>通常行っている活動と同等の事業や、定例的に行っている事業の場合は、助成金を活用することで成しえる新たな展開を含むことが要件となっています。</p> </div>
課題意識・背景	<p>事業計画に至る課題意識についてご記入ください。</p> <p>※仙台における文化芸術の活動環境について、現状の課題がわかるようご説明ください。</p>
ねらい・目的	<p>事業によって達成したいねらいや目的をご記入ください。</p> <p>※「課題意識・背景」欄で記入した内容について、本事業を通してどのように寄与できるかをご説明ください。</p>
手法	<p>ねらい・目的を達成するための手法や、波及効果を生み出すための手法をご記入ください。</p>
事業の詳細	<p>申請事業の内容、実施時期、出演・参加アーティスト、回数、対象者等を<u>具体的</u>にご記入ください。</p> <p>※制作状況、出演者交渉、会場確保等の準備状況もご記入ください。。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>特に出演・参加アーティスト、会場は、決定事項と未決定事項がわかるようにご記入ください。</p> </div>

<p>情報保障・鑑賞サービスに関する取組みについて</p>	<p>事業の参加者を対象とするアクセシビリティ向上を目的とした取組みを実施する場合、その具体的な内容についてご記入ください。</p> <p>情報保障・鑑賞サービス費補助金を申請する場合は、本欄に必ずその具体的な内容をご記入ください。</p> <p>該当する取組みを行わない場合は空欄としてください。</p>
<p>実施体制</p>	<p>企画・運営・会計・広報等にかかわる担当者名と役割をご記入ください。</p>
<p>事業後の活動展開や目標</p>	<p>この助成事業での活動をステップとして、今後、どのような事業を進めていくのか、活動展開や目標等をご記入ください。</p>
<p>特記事項 (記入は任意です)</p>	

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、「事業計画書」全体として 4 ページ以内でまとめてください。

**2026年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）
申請者プロフィール（個人用）**

申請者名	※事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一名称をご記入ください。		
居住地	都道府県名	市町村名	備考
			<input type="checkbox"/> 仙台市に通勤 <input type="checkbox"/> 仙台市に通学
	※居住地が仙台市外の方で、仙台市に通勤・通学をしている場合は、「備考」に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをいれてください。		
略歴・業績	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>文化芸術に関する略歴・業績を記入してください。書き切れない場合は、申請事業に関連する分野の略歴・業績に絞って記入してください。</p> </div>		
主な活動実績	<p>イベント名・活動名、実施年月、実施場所、内容等をご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>市内の個人が申請する場合で、住所または通勤・通学地が仙台市内ではない場合は、仙台市内での継続的な文化芸術活動の実績があることがわかるよう記入してください。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>書き切れない場合は、近年の実績に絞って記入してください。</p> </div>		

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1ページ以内でまとめてください。

2026年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）

申請者プロフィール（団体用）

申請団体名	※事業の広報物等に掲載する「主催」表記と同一名称をご記入ください。
代表者名	
構成員人数	名（うち、仙台市内に在住または通勤・通学する方 名）
収容人数・定員等	名 ※貴団体が施設を保有している場合のみご記入ください。
設立年	年
沿革・概要	
主な活動実績	<p>イベント名・活動名、実施年月、実施場所、内容等をご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>市内の任意団体が申請する場合で、「団体構成員の概ね半数以上の住所が仙台市内であるか、仙台市に通勤・通学していること。」の要件に当てはまらない場合は、申請団体に仙台市内での継続的な文化芸術活動の実績があることがわかるよう記入してください。</p> <p>新たに立ち上げた任意のグループ・団体の場合は、構成員・団体毎の活動実績を記入してください。</p> </div>

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1ページ以内でまとめてください。

記入例

(提出書類4)

2026年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成） 団体構成員名簿

- ・居住地が仙台市外の方で、仙台市に通勤・通学をしている場合は、「○」をご記入ください。
- ・構成員が10名以上の場合は主要な構成員10名程度についてご記入いただき、その他の方については「他○名」とまとめてご記入ください。
- ・個人で申請する場合は提出不要です。

	氏名	役職・担当等	居住地		仙台市に 通勤・通学の 場合は○
			都道府県名	市町村名	
1	〇〇 〇〇	代表	宮城県	仙台市	
2	〇〇 〇〇	副代表	宮城県	仙台市	
3	〇〇 〇〇	事務局長	宮城県	仙台市	
4	〇〇 〇〇	会計	宮城県	仙台市	
5	〇〇 〇〇	監査	宮城県	仙台市	
6	〇〇 〇〇	顧問	宮城県	〇〇市	○
7	〇〇 〇〇	団員	宮城県	仙台市	
8	〇〇 〇〇	団員	〇〇県	〇〇市	○
9	〇〇 〇〇	団員	〇〇県	〇〇市	
10	〇〇 〇〇	団員	宮城県	仙台市	
11	他○名	団員	宮城県	仙台市	
12	他○名	団員	宮城県	市外	○
13	他○名	団員	宮城県外	—	
14	以上				
15					

A. 創造・発信事業 収支予算書 (1/2ページ)

		金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
収入 予 算	事業収入 (参加費、入場料、制作物販売等の収入)	円	
	助成金等収入 (当助成以外からの助成金、 企業協賛金、ご祝儀、寄付等)	円	
	その他の収入 (広告収入、印刷物・関連グッズ等の 物販収入等)	円	
	小計(A)	円	※印刷物やOD・DVD、関連グッズの制作・販売を行う事業は、売上数に関わらず 制作数×価格の合計数を記入してください。
自己負担金(B)		円	◀個人・団体資金、会員会費等▶
当助成事業の申請金額(C)		円	◀①助成対象経費(E)の2分の1、②収支差額(G-A)、③50万円 の内、最も低い 額を上回らない金額を記入してください▶
収入合計(D=A+B+C)			申請者の人件費を計上する場合は「一式」とせず、積算 根拠がわかるように記入してください。
		金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
支 出 予 算	人件費 (企画科・出演料等)	円	事業計画書に書いた事業内容との関連が わかるように内訳を記入してください。 また、回数・人数を一致させてください。
	作品制作費 (制作のためのリサーチも含む)	円	内訳と合計金額が一致するか、必ず検算 をしてください。
	事業当日運営費 (当日のアルバイト代・資金含む)	円	備品・機材の購入にかかる経費は、対象経費欄・対象外 経費欄のいずれにも記入できません。 募集要項P.11「助成対象外経費」欄の【記入できる経 費】と【記入できない経費】の項目をご確認ください。
	広報宣伝費、印刷費		
	物品購入費		
	会場使用料 (付帯設備含む)	円	
	旅費交通費	円	【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘル パー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報 保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成 金申請額とは別に、5万円を上限に別途補 助申請できます。 情報保障・鑑賞サービス費については、 2ページ目に計上してください。 情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の 5万円を超える場合、超過分の額は対象 経費として計上することができます。
	その他の費用 (著作権料・振込手数料等)	円	
	情報保障・鑑賞サービス補助 上限を超える経費	円	
	小計(E)	円	
対象外経費支出(F) ※記載は任意です。		円	
支出合計(G=E+F)		円	※収入合計(D)と同額になるように記入してください。

A. 創造・発信事業 収支予算書（2/2ページ）

【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘルパー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成金申請額とは別に、5万円を上限に別途補助申請できます。
 情報保障・鑑賞サービス費については、当ページに計上してください。
 情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の5万円を超える場合、超過分の額は対象経費として計上することができます。

	金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
情報保障・鑑賞サービス費(a)	円	
補助金申請額(b)	円	◀(a)、または5万円のいずれか小さい額を上限として申請してください。▶
補助上限を超える額(a-b)	円	◀(a)の額が5万円を超える場合、1ページ目の「支出:情報保障・鑑賞サービス補助上限を超える経費」欄に超過分の金額を計上できます。▶

B. 他分野との連携推進事業 収支予算書

	金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
収入 予 算	事業収入 (参加費、入場料、制作物販売等の収入)	円
	助成金等収入 (当助成以外からの助成金、 企業協賛金、ご祝儀、寄付等)	円
	その他の収入 (広告収入、印刷物・関連グッズ等の 物販収入等)	円
	小計(A)	円 ※印刷物やCD・DVD、関連グッズの制作・販売を行う事業は、売上数に関わらず 制作数×価格の合計数を記入してください。
自己負担金(B)	円	◀個人・団体資金、会員会費等▶
当助成事業の申請金額(C)	円	—
収入合計(D=A+B+C)	円	※支出合計(G)と同額になるように記入してください。

	金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
支 出 予 算	人件費 (企画料・出演料等)	申請者の人件費を計上する場合は「一式」とせず、積算 根拠がわかるように記入してください。
	作品制作費 (制作のためのリサーチも含む)	円 事業計画書に書いた事業内容との関連が わかるように内訳を記入してください。 また、回数・人数を一致させてください。
	事業当日運営費 (当日のアルバイト代・資金含む)	円 内訳と合計金額が一致するか、必ず検算 をしてください。
	広報宣伝費、印刷費	円
	物品購入費	備品・機材の購入にかかる経費は、対象経費欄・対象外 経費欄のいずれにも記入できません。
	会場使用料 (付帯設備含む)	募集要項P.11「助成対象外経費」欄の【記入できる経 費】と【記入できない経費】の項目をご確認ください。
	旅費交通費	円
	その他の費用 (著作権料・搬入手数料等)	円
	小計(E)	円
対象外経費支出(F) ※記載は任意です。	円	
支出合計(G=E+F)	円	※収入合計(D)と同額になるように記入してください。

C. 育成・活性化事業 収支予算書 (1/2ページ)

		金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
収入 予 算	事業収入 (参加費、入場料、制作物販売等の収入)	円	
	助成金等収入 (当助成以外からの助成金、 企業協賛金、ご祝儀、寄付等)	円	
	その他の収入 (広告収入、印刷物・関連グッズ等の 物販収入等)	円	
	小計(A)	円	※印刷物やOD・DVD、関連グッズの制作・販売を行う事業は、売上数に関わらず 制作数×価格の合計数を記入してください。
自己負担金(B)		円	《個人・団体資金、会員会費等》
当助成事業の申請金額(C)		円	—
収入合計(D=A+B+C)			申請者の人件費を計上する場合は「一式」とせず、積算 根拠がわかるように記入してください。
		金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
支 出 予 算	人件費 (企画科・出演料等)	円	事業計画書に書いた事業内容との関連が わかるように内訳を記入してください。 また、回数・人数を一致させてください。
	作品制作費 (制作のためのリサーチも含む)	円	内訳と合計金額が一致するか、必ず検算 をしてください。
	事業当日運営費 (当日のアルバイト代・資金含む)	円	
	広報宣伝費、印刷費		備品・機材の購入にかかる経費は、対象経費欄・対象外 経費欄のいずれにも記入できません。
	物品購入費		募集要項P.11「助成対象外経費」欄の【記入できる経 費】と【記入できない経費】の項目をご確認ください。
	会場使用料 (付帯設備含む)	円	
	旅費交通費	円	
	その他の費用 (著作権料・振込手数料等)	円	
	情報保障・鑑賞サービス補助 上限を超える経費	円	【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘル パー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報 保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成 金申請額とは別に、5万円を上限に別途補 助申請できます。 情報保障・鑑賞サービス費については、 2ページ目に計上してください。 情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の 5万円を超える場合、超過分の額は対象 経費として計上することができます。
	小計(E)	円	
対象外経費支出(F) ※記載は任意です。		円	
支出合計(G=E+F)		円	※収入合計(D)と同額になるように記入してください。

C. 育成・活性化事業 収支予算書（2/2ページ）

【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘルパー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成金申請額とは別に、5万円を上限に別途補助申請できます。
 情報保障・鑑賞サービス費については、当ページに計上してください。
 情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の5万円を超える場合、超過分の額は対象経費として計上することができます。

	金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
情報保障・ 鑑賞サービス費(a)	円	
補助金申請額(b)	円	◀(a)、または5万円のいずれか小さい額を上限として申請してください。▶
補助上限を超える額(a-b)	円	◀(a)の額が5万円を超える場合、1ページ目の「支出:情報保障・鑑賞サービス補助上限を超える経費」欄に超過分の金額を計上できます。▶

2026 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）

助成申請・採択実績書

当助成事業の申請者（団体・個人）と同一申請者での助成申請・採択実績について、ご回答ください。

1. 2026 年度 公演・展示活動助成事業 第 1 期分申請事業について

（以下、選択肢がある質問については、該当するものに をつけてください）

申請事業の有無	<input type="checkbox"/> 申請事業がある（以下記入） <input type="checkbox"/> 申請無し		
事業名称		申請金額	万円
当申請事業との関係性	<input type="checkbox"/> <u>同一内容の事業である。</u> ※ <small>※両方の助成事業に採択された場合、いずれか一方を辞退いただくことになります。</small> <input type="checkbox"/> <u>異なる内容である。</u>		

2. 直近 3 年間(2023 年度～2025 年度)の当事業団助成事業に採択された事業について

（採択金額が高いものから事業を最大 5 つまでご記入ください）

	助成名称(*)	事業名称（適宜略してご記入ください）	実施年度	採択金額
①			年度	万円
②			年度	万円
③			年度	万円
④			年度	万円
⑤			年度	万円

直近3年間に採択された事業がない場合は
「事業名称」欄に「なし」と記入してください。

* 助成名称は略称を記入してください。

活動助成：公演・展示活動助成事業（2023～2025 年度）

環境助成：持続可能な未来へ向けた文化芸術の環境形成助成事業（2023 年度）

地域助成：文化芸術を地域に生かす創造支援事業（2024～2025 年度）

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1 ページ以内でまとめてください。

提出書類（7）事業内容に関する補足資料 作成の注意点

（提出書類7 補足資料）

申請者名

▪ **提出必須の書類です。**

- 申請者名を必ず記入してください。
- 図や写真も活用してください（カラー可）。
参考になるウェブサイト・動画等がある場合はURLを記入してください。
- A4判4枚以内で作成してください。
郵送で提出する場合は、片面印刷で提出してください。
印刷時に両端に2cm以上余白が生まれるよう調整してください。
- 「A. 創造・発信事業」枠は、制作・発信するものの詳細な企画書を必ず含めてください。
完成時・発信時のイメージがわかるよう、現時点で可能な範囲で具体的に記載してください。
提出書類（2）「事業計画書」内で記載した事項は再度記載の必要はありません。

【記載事項の例】

- ・ 作品・制作物等のテーマ・コンセプト・あらすじ
 - ・ 具体的な制作・表現の手法
 - ・ 出演者・出品者・執筆者等のプロフィール 等
- 「B. 他分野との連携推進事業」枠は、今回取り組もうとしている地域や社会の課題や、連携・協働団体に関する情報を含めてください。
- このほか、次のような事項を記入してください。
 - ・ 過去の活動の実績詳細、チラシ等広報物
 - ・ 継続事業の場合、これまでの事業の経過